



SNSで発信 豊岡のありのままを全国へ

山陰北近畿魅力発信
インフルエンサー
豊岡市制20周年式典アンバサダー

まさかずさん

いまにしまさかず
本名：今西優一さん。豊岡市在住。仕事の配属で5年前に奈良県から豊岡市へ移住。旅館で働く傍ら、SNSを通じて、豊岡市を中心に山陰北近畿地方の魅力を発信している。週に平均3件から4件、動画を投稿している。



@SANIN_KITAKINKI

▲Instagram

▲動画の撮影から編集までを、自身で行っており、編集時間は1本当たり6時間程度

豊岡市のグルメ・風景・イベント・企業の魅力を地元の方や観光客、移住希望者に届けるため、SNSで情報発信をしています。移住先である豊岡市の魅力に深く感動し「この素晴らしさを多くの方に届けたい」という思いが、私の活動の原点です。

地元の方にとっては日常の一部であっても、客観的に見れば素晴らしい魅力にあふれている場所や事柄がたくさんあります。SNSの投稿を通じ

て、地元の方には地域の素晴らしさを再発見するきっかけを、市外の方には観光や移住・定住の参考にしてほしいと考えています。

「出かける際の参考になった」「実際に行ってみたら、非常に良い風景だった」といった反響はやりがいとなり、活動を続ける原動力になっています。

今後も市の魅力を積極的に発信することで、若者の豊岡市への定着やUターンを促し、地域貢献に尽力していきたいです。

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

コウノトリ育む農法を大阪・関西万博で紹介



大阪・関西万博の関西パビリオンで9月24日から26日まで「コウノトリ育む農法」の取り組みを紹介しました。ポスターや動画を使って来場者の皆さんに説明し、さらに豊岡市の公式Instagramなどをフォローした方に「コウノトリ育むお米」をプレゼントする企画も行いました。新米を受け取った方からは「嬉しい。早速炊いて食べます」「また豊岡に行きます」といった声が寄せられました。

会場ではそのほかにも、コウノトリの野生復帰や山陰海岸ジオパークの展示などがあり、連日たくさんの来場者でにぎわいました。

豊岡演劇祭 2025 閉幕しました



©トモカネアヤカ

豊岡演劇祭は今年、但馬地域全域に開催エリアを拡大し、海岸、空港、神社の農村舞台など、まち全体を舞台に多彩な演劇やダンスが上演されました。

特に今年は芸術文化観光専門職大学の学生だけでなく、市内に就職した第一期卒業生も深く関わり、実際の信用金庫の店舗が演目会場になるなど、市民・地域・大学との連携が格段に深まりました。海外アーティストも参加し、国際色豊かな演劇祭となり9月23日に閉幕しました。

豊岡市
SNS



各施設・
事業の
SNS



※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採
用しています。



環境に優しいベジタブルインキで
印刷しています。